

議会だより

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai@vill.noda.iwate.jp

のだ

十府ヶ浦公園花植え 29.7.16

2017
8/25
第140号

平成29年6月 第8回定例会

◎主な内容◎

- 定例会の概要 — 2・3ページ
- 一般質問 5人が登壇 — 4～10ページ

復興は次のステージへ

～都市公園竣工&保健センター落成～



6月定例会は、6月13日から16日までの4日間の会期で開かれ、28年度一般会計予算における19件の事業費の繰越を承認したほか、29年度一般会計補正予算と5つの特別会計の補正予算、計2億2,096万円が可決しました。さらに、バス条例の改正など議案9件を慎重審議し、全案を可決しました。(3ページ)

また、請願2件、陳情1件を受理し、総務教民常任委員会へ付託。3件すべて「採択すべきもの」とし、国へ意見書を提出しました。(12ページ)

一般質問は5人が登壇し、村政に鋭く切り込みました。(5ページ～10ページ)

(写真上) 土地区画整理事業・都市公園事業竣工式(6月11日)

(写真左) 保健センター落成式(6月1日)

◎6月定例会で決まったこと◎

中学校テニスコート復旧に324万円

一般会計補正予算

1億3,945万円を追加

平成29年度一般会計補正では歳入歳出に1億3,945万円を追加し、総額を42億9,401万円とすることで可決しました。

歳入では、東日本大震災津波復興交付金基金繰入金に7,529万円、大津波伝承基金繰入金に2,000万円、また繰越金として、8,544万円計上しました。

歳出では、東日本大震災復興交付金返還金に6,367万円、避難誘導施設整備事業に700万円のほか、商工会補助金に100万円を、中学校テニスコート復旧事業として324万円を計上しています。

歳入

- ・東日本大震災津波復興基金繰入金…324万円
- ・東日本大震災津波復興交付金基金繰入金…7,529万円
- ・大津波伝承基金繰入金…2,000万円
- ・前年度繰越金…8,544万円

歳出

- ・東日本大震災復興交付金返還金…6,367万円
- ・避難誘導施設整備事業…700万円
- ・がけ地近接等危険住宅移転事業補助金…802万円
- ・テニスコート復旧事業…324万円



震災後グラウンド替わりとして利用されていたテニスコートも元の姿へ戻ります。(5月に行われた体育祭の様子)

質疑 Q & A

6月議会で話し合われた内容の中から
抜粋してお知らせします。

**問 東日本大震災津波復興交付金の返還の理由
は。**

答 農水省事業の復興事業が28年度で終了した
ため、精算による返還である。

問 野田村商工会補助金100万円の内容は。

答 プチ夜市や「ねまー」を核としたイベント
経費、イベントに使用する椅子やテーブルの作成
委託料、音響や照明等の備品購入経費である。

問 避難誘導施設整備事業700万円の内容は。

答 都市公園から南浜コミュニティセンターまで
の間に2ヶ所、米田駅から米田公民館までの間に
2ヶ所誘導標識を設置する予定である。

問 テニスコート復旧事業の内容は。

答 今回予定しているのは4面の土を入れ替え、
また防球ネットを設置する予定である。

問 復興防災教育補助金の増の理由は。

答 小学校でのソーランに使用する半纏と大漁旗
の作成費用である。中学校では創作太鼓で交流し
ている宮城県雄勝中との被災地学習に係る経費で
ある。共に県からの委託事業である。

2台体制でコースの見直しへ

～村営バス条例改正～

これまで1台体制だった村営バスの運行を、2台体
制とすることで、条例の内容も変更するものです。以
前の条例では、路線や距離数の記載がありましたが、
今回の改正で運行範囲を村内全域と決めました。ま
た、この改正に伴って、コースの見直しを行い、これ
までのコースに加え、市街地のみを巡回するコースや
短時間で役場まで到着するコースの設置も予定されて
います。



今まで大型1台で運行していたバスも中型2台となります
(8月9日に行われたセレモニー後の記念撮影)

発議案

組織犯罪処罰法(共謀罪)の撤回を求める 意見書の提出について

※発議案提出当日にテロ等準備罪に名称変更

提出者 宇部 武典

賛成者 山田 陽子 古舘 幹男 廣内 和之

賛成4人、反対7人で否決

◎繰越明許費一覧

28年度における事業で年度内に完了しなかったものについ
て村当局より議会へ報告がありました。総額で約11億9,248
万円となりました。これらの事業は29年度に完了します。

(単位:千円)

事業名	総事業費	繰越額
統一的な基準による地方公会計整備事業	17,314	9,131
公共施設等総合管理計画策定事業	15,830	12,179
村民広場等災害復旧事業	52,320	35,710
震災応援職員宿舍建設事業	182,100	96,568
個人番号カード交付事業	669	345
臨時福祉給付金給付事業	19,301	4,788
保健センター通信線等整備事業	4,787	4,787
保健センター備品整備事業	5,000	5,000
水産業復興支援事業	141,000	85,248
漁港施設機能強化事業	113,961	2,082
村道舗装現況調査事業	5,200	5,200
復興道路事業	150,550	52,417
土地区画整理事業	129,470	72,305
都市公園事業	1,311,902	390,114
防災集団移転促進事業	215	215
河川等災害復旧事業	243,251	177,223
地域情報通信施設災害復旧事業	16,848	16,848
漁港施設災害復旧事業	65,988	45,988
農地・農業用施設災害復旧事業	30,000	23,196
林地施設災害復旧事業	185,000	153,140
合 計	2,690,706	1,192,484

◎工事契約

玉川漁港の静穏度確保対策のために30mの防波堤を設
置するものです。7社入札執行の結果、宮城建設株式会社と契
約しました。

契約金額は1億4,040万円で、
工事期間は平成30年3月15日
までの予定となっています。



視 察

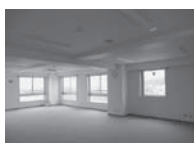
東日本大震災復興特別委員会

～保健センター・北区コミュニティセンター視察～

東日本大震災津波復興特別委員会（岩岡吉比古委員長）は、5月17日に新設された保健センターと北区地区コミュニティセンターを視察しました。

○保健センター

- ・敷地面積：3,852.91㎡
- 1階…保健センター機能を有する各部屋
- 2階…集会室
- 3階…避難スペース



2階 集会室



3階 避難スペース



1階米養指導実習室
(左)と児童室(右)



○北区地区コミュニティセンター

- ・敷地面積：1,120㎡
- 平常時は北区地区の集会所として利用し、災害時は逃げ遅れた人のための緊急避難場所として2階と屋上を利用する。



屋上



1階 台所(左)と
避難待機場所(右)



第8回臨時会

保健センター条例を制定

5月22日に行われた臨時会では、28年度予算の専決処分のほか、29年度の補正予算のほか、保健センター条例の制定など、報告1件、承認3件、議案4件の計8件を承認可決しました。

◎臨時会で決まったこと◎

○平成28年度野田村一般会計補正予算（第8号） の専決処分に関し承認を求めることについて

- …交付金額等の確定により専決処分するもの
歳入歳出に4,345万円を追加
総額75億7,330万円へ。

○平成29年度野田村一般会計補正予算（第1号）

- …歳入歳出に241万円を追加。
総額41億5,456万円へ。

○野田村税条例等の一部を改正する条例の専決処分 に関し承認を求めることについて

- …地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、
村税条例の一部を改正するもの。

○コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

- …北区地区コミュニティセンターの新設に伴い、
所要の改正を行うもの。

○復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に 関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し 承認を求めることについて

- …復興産業集積区域における固定資産税の課税免除
に伴い、村税条例の一部を改正するもの。

○保健センター条例

- …野田村保健センター新設に伴い、新たに条例を制
定するもの。

質疑 Q&A

問 3階部分において、東日本大震災津波に関する展示を考えているようだが、どのような形か。見学した際（参照）には壁がほとんどないように感じたが。

答 今年度においては、展示用のパネルを設置して、写真等の展示と、映像において確認できるものを設置したい。

◎村政を問う◎

～一般質問 5人が登壇～

○米田 徳一郎 議員 …… 6ページ ー 津波伝承館・慰霊碑建立はー

その他の質問

・河川公園整備について ・漁業振興について ・第一堤防の背後地利用について

○古館 幹男 議員 …… 7ページ ー 久慈広域連合での連携はー

その他の質問

・国民健康保険の岩手県への移管について

○中川 大和 議員 …… 8ページ ー 今後の産業振興はー

その他の質問

・新交流物産館複合施設の建設について ・小中学校教員の勤務実態について

○山田 陽子 議員 …… 9ページ ー ソフト面の復興はー

その他の質問

・やまぶどうワインについて ・村立図書館について ・小中学校の環境整備について

○宇部 武典 議員 …… 10ページ ー 災害公営住宅の払下げ価格軽減はー

その他の質問

・国民健康保険事業の広域化について
・「ひきこもり」の実態調査と対応策について
・コミュニティセンターと地区公民館の違いの中での経過措置について
・オールシーズン対応のゲートボール場設置に関して
・国内外の異論を無視する「共謀罪」法の廃案を求める問題について

※本号掲載以外の質問に関しては村HPをご覧ください

<http://www.vill.noda.iwate.jp/>

津波慰霊碑建立の今後の予定は

村長 村が主体となり計画を進める



米田 徳一郎 議員

子供達に防災意識を傳承する核となる施設が必要と考えるが、津波資料館を保健センターに併設した経緯と慰霊碑建立の進捗状況と村の関わりは。

村長 復興庁と協議を重ねる中で、防災拠点施設と保健センターを合築する方向性が示され、その後、さらに進める過程で3階は非常時において一次避難できるスペースとして、平常時には震災当時の写真や映像を見るスペースとして整備することです承を得た。

慰霊碑建立については、実行委員会が主体的に活動し、村は事務的な補助を行ってきたが、6月5日に行行委員会総会が開かれ村に対する寄付金を持つて、今後においては村が主体となり慰霊碑建立に向けて事務を行うよう決議され、今議会に係る予算、条例の設備を提案した。

河川公園の整備は

区画整理事業内にある明内川を隣接する公園と一体で利用できるよう河床を整備、水生植物等を植栽して河川公園として整備すべきでは。



区画整理事業内の明内川

村長 河川管理者である県からは、その計画はないとの回答を得ている。村が整備した7か所の街区公園には張芝や遊具、親水護岸などを整備、お年寄りから子供連れの家族など、幅広い年齢層が一緒になって水辺を楽しむ、自然環境に親しむことができる公園となっている。

漁業環境をどのように分析しているか

高齢化や後継者、担い手の不足、津波の影響もあり平成22年に184名であった組合員が平成28年に143名と、6年間で41名が脱退。組合の存続すら心配になるが、本村の漁業環境をどのように分析され対策を講ずる考えか。

村長 就漁者の減少、高齢化の中で、漁業が持続的に発展するためには、後継者や担い手の確保は喫緊の課題だ。特に新規就漁者の場合は、漁業権の取得や漁船などの初期投資の負担が大きいことが要因と考える。村としては、新規就漁者支援対策事業を新設し、新規就漁者の確保に向けた支援、今後は受け入れ環境の整備や漁業就業支援フェア参加等、新規就漁者の確保に向けた具体的な取り組みについて、野田村漁協への働きかけを強め就業情報の

堤防の背後地利用は

発信や地域おこし協力隊制度の活用など支援策について検討を進めていきたい。

第1防潮堤の工事も終盤を迎え、今後は背後地利用計画などが協議されるものと思うが、県の利用計画の内容、村の意向がどのように生かされているか。

村長 堤防内側は、村有地を含め、保安林に指定されているが、本年度から防潮林の再生に向けて、復旧工事に着手。本年度分は、盛土工、植栽エリアへのネット設置工を予定。平成32年度までの復旧を進めると聞いている。復旧計画の概要は飛塩防備、暴風及び防霧軽減を図るため黒松を基本樹種に林体を構成し、背後地には広葉樹を植栽、防潮堤管理道路、遊歩道、排水路等が整備されると聞いている。



古 舘 幹 男 議員

久慈広域でのさらなる事業連携は

村長 可能なものは協議していく

多くの事業を久慈広域連合で取り組んでいるわけだが、さらに一緒に取り組むべき事業があるのではないかと考える。中沢地区の上下水道は久慈市の上下水道を利用している。野田村の処理施設は未だ余裕があると聞いているがどのようか。

村長 公共下水道施設の処理能力については、下水道法により処理区域の承認を受けた区域内人口により算出している。現在の公共下水道計画も人口動態を踏まえた計画人口となっており、現在の施設規模での計画では余裕があるとはなっていない。

復興に掛かる予算も少なくなっていくなかで、共有できる部分は共有していくべきだと思うが、どのようか。

村長 できるものについては協議していくつもりだ。以前は地域の方々からの要望もあり、様々な動きが

あったが、震災の関係もあり動いていない。



港地区にある浄化センター

人口減少、少子化対策について野田村では、様々な政策を講じてきた結果、一学年30人前後で推移しているようであるが、近隣では統廃合を考えている学校もあると聞いている。クラブ活動等でも広域内で交流できるように考えてはいかかか。

教育長 児童生徒数の減少により、クラブ活動が十分にできない状況が懸念され

る場合には、学校の区域を越えて活動ができるか、関係機関と協議していきたいと考えている。

子どもたちはどこに住んでも、同じような教育を受け、成長できるような体制作りが必要ではないかと考えるが。

教育長 クラブ活動に限って言えば、中学校体育連盟では合同チームの参加規程を設けて対応している。本村においても、近隣の学校と合同練習を行っている部活もある。

国保事業の県への移管で村の負担は

市町村が財政運営する国民健康保険が来年度から岩手県に移管されるのに伴い、各市町村の保険税額の試算を公表し、新制度では県が一律の算定方式で納付金を定め、市町村は徴収した保険金を県に納付する。県平

均同額の見込みとなっているが、野田村はどのようか。



負担の軽減が望まれます

村長 今回公表された試算は、30年度の納金を算定するにあたって医療費水準や所得水準の反映の程度、激変緩和の方法などを今後市町村と検討するためのたたき台となるものであり、概要をつかむために仮試算されたものだ。9月頃に実際の数値での検討がなされるが、保険料負担が急激に増加することを回避するために県に対し、激変緩和措置の拡充を要望するなど、十分に検討を行っていきたい。

村主体で観光振興に力を注ぐべきでは

村長 本村ならではの対策のあり方を検討



中川大和 議員

今後の産業発展のためにも、村が主体となり積極的に観光振興に力を注ぐべきと思うが村長の考えは。

村長 これまでも補助金による支援を行っていたものの、村と観光協会で連携して事業を実施する等、状況に応じた対策を行っていた。今後、交流層との関係の深化等、地方創生における総合戦略の観点も考慮して、本村ならではの観光振興策の在り方について検討していく。

村で行っているイベント等において、観光協会の人員が少なく負担になっていると感じるが、村主催でイベントを行ったほうがいいのではないかと思うが。

村長 これまで様々な経緯があり今の形になっているが、出来れば行政が応援しながら住民の方々に盛り上げていただく形が理想的だ

と思っている。決して行政が離れるという事はないので現在の形で進めていただきたい。



「ねまーる」で行われるよ市のような

構想中の道の駅の進捗状況は

構想中の複合施設の年間の来場者、利用客数の見込みと想定している年間売上見込みは。

村長 道の駅「のだ」の実績数値から推計して、利用客数35万人程度、売上1億6千万円程度と見込

んでいる。

複合施設の建設により、現在の観光物産館と両方を維持するのは非常に困難なのではないかと思われるが。

村長 今の観光物産館を今の施設規模で今の形の通り残していくとは考えていない。駅がある以上なくするわけにいかない。どの程度の機能を残していくかは今後の検討になる。

久慈広域の道の駅の建設費負担もあるわけだが、どの程度の負担額になるか。複合施設の建設と二重の負担にならないか。

村長 負担額については、本年度、久慈市で整備基本計画を作成すると伺っている。この中で負担額も検討することになる。二重の負担という点については、広域の施設は久慈広域の玄関口として、複合施設は村の

新たな玄関口としてそれぞれ役割を担うものと考えている。



建設が進む野田 | C

高齢化や人口減少、産業の衰退が叫ばれる中で将来、施設の維持、管理が不安視されると思うが。

村長 敷地面積は駐車場の確保などで現在の道の駅の2倍程度になるが、売り場面積は現行規模程度である。併せてLED照明、トイレ排水等への雨水の活用などで維持管理経費の節減を図っていきたい。



山田陽子 議員

ソフト面の復興に向けた取り組みは

村長 訪問活動・相談事業を継続する

被災者が心身共に健康的な生活を送り、本格的な復興を進めるために、ハード面からソフト面へ移行する時期である。ソフト面充実の体制づくりは。

村長 こころの健康相談センターや保健師等による訪問活動・健康相談事業のほか、当面はこれまでの事業を継続していく。

例えば、震災を機に出来たグループへの活動支援や公民館として捉えた北地区防災センターに掛かる経費などの取扱いの対応の考え方についても、ソフト面の復興であると認識するが。

村長 新たな組織も、以前の組織も同じ活動組織であると考え、同様の対応をしていく。公民館の場合も、各地域にある公民館と同じ括りで対応していく。

復興は、これまでの既存の

物の考え方に当てはめるだけでなく、復興による変化に伴った、ルールの変更や改正など新たな考え方が大事で、重要だと考えるが。

村長 まだまだ立ち上がれないという部分には、フォローしていく。また、公民館の位置づけは、色々な整備手法でやってきているので、今後は色んな形での使い方を指導していく。

今後のワイン生産の対策は

今春4月にワイナリー初の山葡萄ワインが発売され、全国的に好評です。ますます期待されるが、後継者不足と生産量について危惧する声がある。その対策について問う。

村長 ワインを安定的に醸造していくために栽培技術の向上と、剪定方法など栽培方法の改善、用途に合わ

せた系統への計画的な改植などのほか、雇用を含めた後継者の確保や円滑な事業継承を図るための生産組合の法人化への移行など、関係機関等と連携していく。移行時期は未定である。



道の駅内でのワイン販売コーナー

村立図書館について

生涯学習センターと併設しているため、雑音等で集中できないことがあると利用者からの声がある。図書館内のマナーの徹底や防音対策について問う。

教育長 図書館と生涯学習センターは、防音材が施されている。マナーについては、利用者に注意喚起していく。

苦情等を把握するために意見箱を設置し、より利用しやすい環境の対策が必要では。

教育長 検討していく。

小中学校の環境整備は

児童生徒の自立心の向上のためにも、ボランティア等に頼らず、自ら校内の環境整備に取り組む体制を考えていくべきではないか。

教育長 生徒・児童たちは、老人クラブの方々に感謝の意を持ち、行事等に取り組んでいる。今後十府ヶ浦公園の花壇等の除草等を含め、機会を利用しながら進めていく。

災害公営住宅の払下げ価格の軽減は

村長 適正な家賃負担について検討する



宇部 武典 議員

生活再建支援金を300万円から500万円に引き上げることを被災者のためにも粘り強く行って欲しいがどうか。また、災害公営住宅の家賃軽減の継続と払下げの際の軽減措置について、県内では独自の制度を設けている自治体もあるが、本村の実態は。払下げ価格の基準は時価か。

村長

現行制度では、支援効果が十分とは言えない状況だと認識している。関係機関と連携しながら、粘り強く要望していく。災害公営住宅に入居する政令月収8万円以下の低所得者の家賃は、東日本大震災特別低減事業により、10年間本来の家賃から減免するものだ。期間のうち、最初の5年間は、減額措置を行い、負担を大幅に軽減するもので、残り5年間は、段階的に本来の家賃に戻していく。本

村では、門前小路第1団地が来年度、段階的に本来の家賃に戻る期間へ入るもので、数世帯が対象だ。他の自治体の動向を見極めながら、適正な家賃の負担について検討していく。払下げ価格は希望者に目安となる価格を周知していく。

村の中心市街地再生構想はどのように進んでいるか

街づくりと商店街再生のためにあらゆる経営支援、様々な公共施設の配置など中心市街地に人を集める取り組みが必要である。村の基本計画の中でも検討がされているが、構想はどうか。

村長

中心市街地が形成されつつあり、村営住宅12戸の建設や賑わい創出に向けた各種イベントやテナント出店

など起業や新商品開発に向けた取り組みなどの支援をしていく。



中心部の再生が大きな課題です(市日のように)

コミュニティセンターに対する補助の増額は

コミュニティセンターと地区公民館が混在する中で「野田村地区公民館改修費及び維持管理費補助金交付要綱」に基づいて「地区公民館」という名称でなくとも、一館につき3万円の維

持管理費補助金が交付されている。コミュニティセンター等の施設の場合、維持管理経費の増高に伴う、補助額の引き上げが検討されてしかるべきだと思うが、どのように考えるか。

村長

社会教育法に基づく施設は、本村になく、総合センターが補完する施設だ。村が事業主体とならなければ建設できない要件となっているときは、村が建設し、それ以外は地区が事業主体となり、各世帯の積立金や補助金を活用し、建設する。これに掛かる維持管理費は、地域で負担している。

教育長

様々な施設を含めて地区の集会施設であれば、各館に維持管理費を補助しているが、現在のところ、補助金の引き上げは検討していない。

5月臨時会・6月定例会採決一覧表

○…賛成 ×…反対
※議長は採決に参加しない。

会議	議案番号	議 案 内 容	宇部 武典	岩岡 吉比古	古館 幹男	八幡 文耕	山田 陽子	内野 澤進	米田 徳一郎	米田 忠一	小野 寺光男	中川 大和	廣内 和之	貳又 正人	結 果
第8回臨時会	承認第1号	平成28年度野田村一般会計補正予算(第8号)の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	承認第2号	野田村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	承認第3号	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第1号	平成29年度野田村一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	保健センター条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第7回定例会	議案第4号	北区地区コミュニティセンターの指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告第1号	平成28年度野田村一般会計予算繰越明許費の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告第2号	平成28年度野田村漁業集落排水事業特別会計予算繰越明許費について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告第3号	平成28年度野田村公共下水道事業特別会計予算繰越明許費について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告第4号	平成28年度野田村簡易水道事業特別会計予算繰越明許費について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告第5号	平成28年度野田村一般会計予算事故繰越しの報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第1号	平成29年度野田村一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成29年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成29年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	平成29年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第5号	平成29年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第6号	平成29年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第7号	大津波伝承基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第8号	野田村村営バス条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第9号	玉川漁港施設機能強化(南沖防波堤)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第1号	組織犯罪処罰法改正(共謀罪)の撤回を求める意見書の提出について	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	否
	発議案第2号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第3号	日本政府に対し、核兵器禁止条約の国連会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第4号	国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

新委員を決定

◎常任委員会・議会運営委員会

6月定例会では、8月で任期が終了する常任委員会の選任も行われました。新しい委員は次のとおりです。

◎総務教民常任委員会◎

委員長 八幡 文耕
副委員長 米田 忠一
委員 岩岡吉比古
内野澤 進
中川 大和

◎産業常任委員会◎

委員長 古館 幹男
副委員長 米田徳一郎
委員 宇部 武典
山田 陽子
小野寺光男
廣内 和之

◎議会運営委員会◎

委員長 八幡 文耕
副委員長 古館 幹男
委員 宇部 武典 米田徳一郎
岩岡吉比古 米田 忠一
山田 陽子 小野寺光男
内野澤 進 中川 大和

請願・陳情

6月定例会には、陳情1件、請願2件が提出され、総務教民常任委員会に付託され審議が行われました。慎重審議の結果、3件とも「採択すべきもの」として決定し、発議案として議会へ提出。3件とも可決され、国へ意見書を提出しました。

○陳情第7号 国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める陳情書

○陳情者：岩手県盛岡市紺屋町

岩手県国家公務関連労働組合共闘会議 議長 岩崎保

○内容

震災から6年が経過する中で、国と地方の公務員は復興に向けて全力で取り組んできたが、政府は財政赤字の原因が公務員にあるかのように主張している。住民の暮らしと安心安全を守るために、人員と出先機関のこれ以上の削減を行わないことを望む。

○請願第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、平成30年政府予算に係る意見書採択の要請についての請願

○請願者：岩手県久慈市岩手県教職員組合

県北支部支部長 荒木裕之

○紹介議員：宇部武典議員 古舘幹男議員

○内容

子どもたちの豊かな「学び」を実現させるためには、教員の授業準備等の時間確保が不可欠だが時間外労働が80時間を超える教職員が存在する。よって計画的な教職員定数の改善と義務教育費の国庫負担割合の増加を求める。

○請願第4号 日本政府に対し、核兵器禁止条約の国連会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書提出に関する請願

○請願者：岩手県久慈市

原水爆禁止久慈地区協議会 会長 城内仲悦

○紹介議員：宇部武典議員

○内容

日本政府は3月の核兵器禁止条約の国連会議に、世界で唯一の被爆国でありながら参加しなかった。よって、このような態度を改め、6月15日から国連本部で開かれる国際会議に参加し、条約実現に真剣に努力することを望むものである。

あとかき

残暑お見舞い申し上げます

広報委員会が発足して、2年が経過いたしました。多くの村民の方々に、村政や議会活動の様子などをわかりやすくお伝えるために、研修会での勉強を重ね、各委員様々な意見を出し、編集に努めて参りました。

次回号より、編集委員が一新され、さらに充実された議会だよりが届けられると思います。今後とも村民の皆様のご意見等をお寄せいただきたいと思います。

2年間ありがとうございました。(小野寺)

◎議会の動き◎

○4月○

- 4月 6日 久慈工業高校入学式（久慈工業体育館）
・・・全議員
野田中学校入学式（野田中体育館）
・・・全議員
4月 7日 野田分署員歓迎会（えぼし荘）・・・議長
4月10日 野田小学校入学式（野田小体育館）
・・・全議員
4月13日 北部地区町村議会議長会通常総会
（秋田県鹿角市）・・・議長、副議長
4月20日 村政調査会（役場）・・・全議員
4月25日 全国簡易水道協議会 東北・北海道
ブロック会議（えぼし荘）・・・議長
4月28日 PTA教職員歓迎会（えぼし荘）
・・・全議員

○5月○

- 5月12日 村政調査会・東日本大震災津波
復興特別委員会・・・全議員
5月23日 道路関係縦軸2団体合同総会
（グリーンピア三陸みやこ）・・・議長
第52回野田村商工会通常総会
（野田村商工会館）・・・副議長
5月24日 岩手県町村議会議長会議員研修会
・・・米田徳一郎議員、米田忠一議員
小野寺議員、中川議員
5月29日 県土整備部関係団体通常総会
（盛岡グランドホテル）・・・議長
岩手県漁港漁村協会総会
（岩手県水産会館）・・・議長
5月31日 全国町村議会議長会29年度
議長・副議長研修会・・・副議長

○6月○

- 6月 1日 野田村保健センター落成式・・・議長
6月 4日 消防団特別点検
（野田村山村広場）・・・全議員
6月 6日 岩手県町村議会議長会
第1回定例監事会・臨時総会
（岩手県自治会館）・・・議長
6月11日 野田村土地区画整理事業・都市公園事業
竣工式・祝賀会（現地）・・・全議員